

大和小学校・若宮小学校統合委員会 要点記録

第 9 回

開催日時	平成28年3月16日(水) 午後6時00分～7時05分	
開催場所	若宮小学校 家庭科室	
出席者	委員	伊藤英男、杉浦聡、北村勝、国定明美、関根仁美、和泉智乃、長尾久仁子、風見尚征、林朱実、澤村美和子、長岡知恵、石澤美佐紀、堀江政人、佐藤民男、堀聡明、松久保雅和、川嶋正昭、板垣淑子、浅野昭 (敬称略、順不同)
	事務局	学校再編担当
会議次第	【議事】 1 統合新校の校章・校歌について 2 統合新校の学校指定品等について 3 その他	

第9回 大和小学校・若宮小学校統合委員会 会議要旨

1 開 会

委員長

これより第9回統合委員会を開催する。

本日、傍聴者はいない。

議事に入る前に、報告事項があるとのことなので先に行う。事務局の説明を求める。

(1) 統合新校の校名候補について(報告)

■資料「統合新校の校名候補について(写)」事務局から報告

(概要)

1 校名候補

「中野区立美鳩小学校」(なかのくりつみはとしょうがっこう)

2 選定理由

- ・大和小学校と若宮小学校の間にある「美鳩橋」が両校をつなぐように、また、子どもたちが異なる文化や時代をつなぐ架け橋のように成長して欲しいという願いを込めた。
- ・「みはと公園」のように年代を越えて地域に親しまれる統合新校になって欲しい。
- ・鳩は平和の象徴であり、地域も統合新校も平和であって欲しいという思いを校名に込めた。
- ・子どもたちが統合新校で成長し、この地域から世界に羽ばたいて欲しいという思いを校名に込めた。

3 選定方法

統合の対象となる大和小学校・若宮小学校の児童・保護者、統合新校の通学区域にある保育園・幼稚園の保護者、地域の方などから統合新校の校名を募集し、その結果を参考に協議して意見を取りまとめた。

4 検討経過

- ・平成27年4月27日、5月25日 検討方法の協議
- ・平成27年7月6日～9月3日 校名募集
- ・平成27年9月18日、11月17日、平成28年2月12日 校名の協議

委員長

2月25日に副委員長と報告してきた。校名を取りまとめるにあたって、いろいろな議論があったが、皆さんが納得する形で取りまとめることができ良かったと思う。これから次の課題に入っていくが、よろしくをお願いしたい。

副委員長

最初は正直この校名で良いのだろうかという思いもあった。しかし、区内には地名にまつわる校名や、近年の統合校は「緑野」、「白桜」、「桃花」など、草花などにちなんだ校名が多い。その中で「鳩」という動物の名前が校名に入ったというのは非常にユニークだとさまざまな方から評判の声をいただいている。

委員長

ただいま報告された内容について、質問等はあるか。なければ議事に移りたい。

2 議事

議事(1)統合新校の校章・校歌について

委員長

それでは議事に入る。「統合新校の校章・校歌について」事務局の説明を求める。

■資料「(仮称)中野区立美鳩小学校の校章デザイン・校歌の歌詞 応募用紙(案)」について、事務局から説明

(概要)

1 募集内容

(1) 校章デザイン

- ・(仮称)美鳩小学校にふさわしい校章のデザイン
- ・作品の説明(デザインの意味、思いなど)

留意事項

- ・未発表・オリジナルの作品に限ります。
- ・応募作品は、返却しません。
- ・応募作品に関する著作権は、中野区((仮称)美鳩小学校)に帰属することになります。
- ・応募作品については、学校統合委員会で修正を加えることがあります。

(2) 校歌の歌詞

- ・(仮称)美鳩小学校の校歌の歌詞に取り入れたい言葉(フレーズ・単語)

例: 元気、笑顔、希望など

留意事項

- ・応募された言葉は、専門家に作詞を依頼する際の参考としてお渡しするため、応募されたものが必ず校歌に入る訳ではありません。

2 募集期限 平成28年5月13日(金曜日)

3 応募先 大和小学校、若宮小学校、大和区民活動センター、鷺宮区民活動センター ※応募箱設置場所には応募用紙を配布

4 その他

- ・募集案内は、4月上旬発行予定の統合委員会ニュースで行う。また、統合新校の通学区域内にある区のお知らせ板にポスターを掲示する。

- ・両小学校、統合新校の通学区域にある保育園・幼稚園で配付する統合委員会ニュース、関係町会・自治会で回覧する統合委員会ニュースに応募用紙をつける。
- ・教育委員会ホームページに掲載する統合委員会ニュースには応募用紙はつけず、応募用紙の配布先と応募箱の設置場所を明記する。

委員長

校章と校歌の応募について説明があったが、質問等あるか。

委員

校章の著作権は、どのようになるのか。

事務局

校章の著作権については、中野区、(仮称)美鳩小学校に属するという形になる。

委員

前回の校名募集のときに、鷺宮区民活動センターにどれくらい投函されたのか。鷺宮区民活動センターの場所は西武線の北側にあり鷺宮小学校の通学区域のため、鷺宮すこやか福祉センターや若宮児童館に置いた方が、より多くの方が応募できるのではないか。

事務局

校名の時には鷺宮区民活動センターに10件ぐらいの応募があった。いろいろな方に応募してもらうために、児童館にも応募箱を置いたほうが良いということであれば児童館に置けるようにしたい。

委員

同じく大和西児童館にも置いてもらいたい。

委員長

鷺宮すこやか福祉センターにも置く必要はあるか。

委員

これから統合新校に入学する子どもたちが考えて応募して欲しいので児童館だけで良いと思う。

委員長

それでは、事務局は現在の応募先に大和西児童館と若宮児童館を加えられるよう調整して欲しい。

委員

この前、西中野小学校の周年行事があったが、校長先生が記念式典で校章のことを話していた。西中野小学校の校章は、白鷺をモチーフにしているという話をした後に、実際に白鷺が舞ってきた。やはり、校章というものは校長先生などが、いろいろな場面で子どもに話をするし、このような学校だという思いが伝わるものだと思う。そういったことも考慮して、統合委員会で協議していきたい。

委員

校章デザインを考えるにあたって色は関係ないのか。

事務局

校章の色を決めてしまうと、学校だよりなどに校章を印刷するときにもカラーにしなければならなくなってしまうということもあると思う。また、校章の色まで決まっていると、校旗にするとき表現が難しい部分もあると思う。

委員

校章というくくりだと白黒のパターンが基本だと思うが、カラーで応募しても良いのか。

事務局

特に色について制限は設けていない。

委員

校旗にするときなどに、その色が生かせるかもしれない。そのため、色については制限しなくても良いと思う。

委員

校章とは直接関係ないかもしれないのだが、学校の色、スクールカラーがあると思う。スクールカラーや校旗の色なども、統合委員会で決めていくのか。

事務局

スクールカラーは学校が決めることとなると思うが、校旗については校章デザインが決まった後に統合委員会で検討する予定である。

委員

統合委員会でスクールカラーを決めるわけではないと思うが、校章が決まっていく過程の中で委員から出された意見が統合新校のスクールカラーに生かされる可能性はあると思う。

校章の色についてだが、現在の学校の校章は基本的に色がついていない。学校によっては文字だけに色をつけているところもあると思うが、白黒のほうが使い勝手が良いと思う。また、校旗には金の糸などで校章を刺繍することとなるので色を決めない方が造作しやすいということもあると思う。

委員長

それでは、校章を募集するに当たって特に色について制限はしないことと、応募先に大和西児童館と若宮児童館の2カ所ふやすということでよろしいか。

— 異議なし —

委員長

他に意見等あるか。

委員

些細なことなのだが、応募用紙に「前期の例」として校章を載せてあるが、実際に応募する人は前期と書いてあっても意味がわからないのではないか。

事務局

文言は修正したい。統合委員会ニュースの発行前に応募用紙を添付した原稿を送付するので確認してもらいたい。

委員

応募用紙は両面で印刷されるのか、それともA3で印刷し半面を切り取って応募箱に入れるのか。

事務局

応募用紙はA4両面印刷で考えている。ただ、統合委員会ニュースはA3で印刷するので、応募用紙の部分の切り取ってもらう必要が出てくる。

委員長

それでは、応募用紙は文言を修正し、応募の手続きを進めてもらうこととするがよろしいか。

— 異議なし —

委員長

校歌に関連して、校歌の制作を依頼したい作曲家や作詞家の意見はあるか。意見があれば事務局へ連絡してもらいたい。その人に決まるかどうかは別にして、いろいろな角度から作詞家・作曲家の候補を出していければ良いと思う。

委員

依頼する当てがないとしても、こういう曲をつくってくれるような人をお願いしたいという漠然としたイメージや意見だけでも参考になるのではないか。

事務局

こういう人が良いという候補を出してもらい、その中から依頼する人を検討していければと考えている。

委員長

それでは、候補がいれば事務局へ連絡してもらいたい。

議事(2) 統合新校の学校指定品等について

委員長

それでは、2番目の「統合新校の学校指定品等について」事務局の説明を求める。

■資料「大和小学校と若宮小学校の学校指定品等の状況について」事務局から説明
(概要)

		大和小学校	若宮小学校
通学帽子		1年生：黄色（交通安全協会の支給品） 2年生～6年生：指定なし	1年生：黄色（交通安全協会の支給品） 2年生～6年生：指定なし
体育着	上	白色・半袖シャツ・校章入り	白色・半袖シャツ（首周りと袖口に青色のライン）・校章入り
	下	紺色 ショートパンツまたはクォーターパンツ	紺色 ショートパンツまたはクォーターパンツ
	紅白帽子	つばあり	つばあり
水泳帽子		青色・メッシュタイプ	緑色・メッシュタイプ

委員長

学校指定品について説明があったが、何か意見等あるか。

委員

上履きは指定品ではないのか。

事務局

上履きについては推奨品のような形になっており、必ずしも指定された上履きを履かなければならないというわけではないので、資料には記載していない。

委員長

他に質問等あるか。

委員

区内の小学校で6年生まで指定の通学帽子を使っている学校はあるか。

事務局

1年生は、区内の全校で交通安全協会から支給される黄色い帽子を被っている。2年生から6年生まで通学帽子を指定している学校は、桃園小学校、新井小学校、桃花小学校、白桜小学校、平和の森小学校、緑野小学校である。

委員

他の学校で6年生が通学帽子を被っているのを見かけたことがあり、通学帽子があっても良いと思った。

委員

通学帽子を指定すると必ず買わなければならなくなるから保護者負担が増えると思う。

委員

帽子を被ったほうが、安全面でメリットがあるのかもしれない。

委員

通学途中に、どこの小学校の子どもなのか通学帽子を見れば一目でわかるため、地域の大人としては注意しやすかったり、目についたりということは安全面におけるメリットの一つとしてあるかもしれない。

委員

学校では、どのように考えているのか。

委員

現在、水泳帽子は安全面や指導上の問題から学校で色を指定しており、両校の色が違うため統合する時に新しいものにした方が良いと思っている。体育着については両校とも校章が入っているため、統合新校の体育着を校章なしにするか、校章を入れたものにするか今後検討する必要がある。

通学帽子については、現在のところ考えていない。安全面から確認しやすいというメリットがあるが、忘れた場合などは、なぜ校帽を忘れたのだという指導しなければならなくなる。また、なくした場合は買わなければならないし、小さくなった場合も買い替えなくてはならないので保護者負担が増えるというデメリットがある。そういったことから学校としては、新しく通学帽子をつくることは考えていない。体育着と水泳帽子だけと考えている。

委員

教員の指導という手間が増えるというのは気がつかなかった。

委員長

現在の水泳帽子の色は青と緑だが、水泳帽子の色というのはスクールカラーと関係しているのか。

委員

スクールカラーと関係しているかもしれないが、水の中で使用するものなので見やすい色になると思う。

委員長

他に意見等あるか。

委員

学校指定品に関しては、学校の授業で使用するものなので学校に任せるしかないと思っている。学校が使い勝手の良いように検討してもらえると良い。

委員長

それでは、学校指定品については両校で検討して決めてもらうこととしたいが、よろしいか。

— 異議なし —

議事(3) その他

委員長

次に、その他として、統合時の校舎として使用する若宮小学校の来年度の工事について、説明を求める。

教育委員会事務局副参事(子ども教育施設担当)

現在、詳細を学校と区の施設担当で検討しているところだが、夏休みを中心に改修工事を行う予定である。

主な工事内容としては、普通教室の数を確保するために、多目的室などで使っている教室の一部を普通教室に転用するための改修や、階段の改修、トイレの洋式化、北側の校舎の教室を特別支援学級に使えるよう改修する。それから、校庭にある飼育小屋を解体して、防災用の倉庫を置く予定である。また、児童が増えるので給食室の改修を行うが、給食室の工事は少し時間がかかりそうなので学校と協議しながら進めていきたいと考えている。大和小学校が建て替えになることにより若宮小学校を校舎として使用する期間が延びることを踏まえ工事内容を検討している。詳細は決まってからお知らせしたい。

委員

夏休みを中心に改修することだが、その間、プールの水泳指導や教室を使った補習授業をするということがあると思う。そういったことに対して影響はあるのか。

委員

工事車両などが入ったりするが、子どもたちの動線や安全面は確保して実施していきたいと考えている。

委員

工事期間中の学校運営などもあると思うので、学校と区で調整しながら進めてもらいたい。

委員

現在、調整中ではあるが、子どもたちが不便に感じることがないようにしたいと思っている。だが、給食室の改修が一番困っており、弁当を持参することになる。

委員長

次に、両校で実施した子どもたちの交流事業について事務局からの説明を求める。

事務局

今年度、大和小学校と若宮小学校では、子どもたちの交流として合同授業などを実施してきた。また、来年度も交流事業を実施する予定とのことである。詳細について学校から説明してもらいたい。

委員

今年度は両校の1年生、2年生、3年生、4年生が交流事業を実施し、4年生はオリンピックを招いて合同授業をした。2、3年生は「学校たんけん」ということで、2年生は若宮小学校を、3年生は大和小学校を会場に相互の学校を案内し交流を深めた。1年生は一緒に馬橋公園まで行き、そこで交流を深めた。どの学年の子どもたちも笑顔で交流することができ、とてもよかったと思っている。来年も同じような事業を続け、子どもたちの心の交流をしていきたいと考えている。また、教員も交流を深めなければならないと考えており、4月下旬には大和小学校で交流する予定である。ソフトの面でも円滑な交流ができれば良いと思っている。

委員

全校単位の行事を合同で実施することは難しいと思うが、学年単位で行われる遠足などを合同で行うということは考えているのか。

委員

それぞれの学校行事もあるので難しい部分がある。いろいろ工夫しながら交流を進めたいと考えている。

委員長

他に何かあるか。

委員

避難した東北の子どもが中野区の学校に通っていると思うが、その関連で宮古市からひまわりの種をもらうこととなっている。若宮小学校の花壇や農園に子どもたちが植えるということは可能か。

委員

農園は生活科で使っていることがある。そこまで広くないがスペースは多少あるので、その中で対応したいと思う。

委員

2,000粒もらうので、鷺宮小学校、若宮小学校、大和小学校それぞれに500粒と考えていたが、統合するため若宮小学校で育ててもらい、その種を新校舎に持っていければ良いと思ったので、検討してもらえると助かる。

委員長

他に何かあるか。

委員

統合委員会とは少し違ってしまいが、大和地区委員会では環境マップをつくっている。子ども

たちが統合により両校の通学区域を行き来するのに、両方の地区のマップを持っていると良いと思う。そのため、環境マップを若宮小学校の子どもたちに配付して欲しいのだが、どうか。

委員

とても良い話だと思う。子どもたちに配付したい。

委員長

具体的な部数等については、直接学校と調整してもらいたい。

その他になれば最後に、次回開催日程について調整したい。

— 日程調整 —

委員長

今回は5月24日火曜日の午後6時から大和小学校で開催することとする。

本日の統合委員会はこれで終了する。